

【本文と資料を関連付けて読み取る力】

問い一 「話し合いの様子①」の  に入る言葉を書きましょう。

ア 小林さんの意見に  です。 ①

※右の通り。平仮名でもよい。

※正答以外の内容を書いている。

※何も書いていない。

問い二 「話し合いの様子①」の  には、どのような文が入るでしょうか。アンケートの結果を見て、その人数を入れて書きましょう。

イ (アンケートの結果を見ると、) 五年生が五十人、六年生が四十八人と、他の学年に比べて、はっきりした声であいさつできた人が少ない (ことがわかります)。

②

※右のように、あいさつできている人数が少ない高学年に触れて書いていれば正答とする。

※正答以外の内容を書いている。数値を用いて書いていない。

※何も書いていない。

問い三 「話し合いの様子②」では、A案とB案の問題点が述べられています。文中から探して、それぞれ一つずつ書きましょう。

A案の問題点

- ・ 同じ人ばかりが名人カードをもらって、カードをもらえない人が出る心配がある。
- ・ カードを渡すことに気をとられて、あいさつしている人を見のがしてしまう心配がある。

B案の問題点

- ・ はずかしいと思う人が当番をすると、あいさつを返す人の声も小さくなる。
- ・ 当番の人数が多いとこんざつして、さわがしくなり、よいあいさつができない。

③

※右の解答例のうち、どれか一つとほぼ同様の内容であれば正答とする。

※正答以外の内容を書いている。

※何も書いていない。

問い四 あなたが生活委員の一員だったら、A案とB案、どちらの案に賛成しますか。次に示す条件を満たして、原稿用紙に書きましよう。

【制限時間内に指定された文字数で記述する力】

指定された範囲内で意見文を書いている。

④

正答 ※三三九字をこえ、四〇〇字以内で書いている。

敬体と常体が混在していても許容する。

誤答 ※三三九字以下、四〇一字以上。

無答 ※何も書いていない。

【注意】

三三九字をこえていない場合は、⑤以降の問題は、「無答」とすること。  
四〇一字をこえている場合は、⑤以降の問題も、採点の対象とすること。

【段落を構成する力】

「始め・中・終わり」の構成で、五段落で書いている。

⑤

正答 ※およそ「立場の表明」「理由」「立場の表明の繰り返し、または結びに当たる記述」とい

った三部構成で、五段落で書かれていれば可とする。

【段落分けの例】

①立場の表明、②理由一十体験、③理由二、④案の問題点、⑤立場の表明の繰り返し  
①立場の表明、②理由一、③理由二十体験、④案の問題点、⑤立場の表明の繰り返し  
①立場の表明、②理由一十体験、③案の問題点、④理由二、⑤立場の表明の繰り返し  
①立場の表明、②理由一、③案の問題点、④理由二十体験、⑤立場の表明の繰り返し  
※ 体験や予想、案の問題点とそれについての考えなどは、一つの理由のあとに続けて書いても、一つの理由のあとに分けて書いてもどちらでも可。

誤答 ※三部構成を意識した段落になっていない。五段落で書かれていない。

一字下げがされていない。意味のまとまりを考えずに改行している。

無答 ※段落が全くない。

【自分の立場を明確にして記述する力】

第一段落に、自分が賛成する案を示している。

⑥

正答 ※第一段落に「わたしは、A(B)案に賛成です」といった記述がある。

誤答 ※立場を明確にした記述があるが、第一段落にない。

無答 ※立場を明確にした記述がない。

【理由を明確にして記述する力】

自分の意見の根拠となる理由を二つ書いている。

⑦

正答 ※自分の賛成する案と整合する理由を二つ記述している。

誤答 ※理由の記述があっても、自分の賛成する案と整合していない。

無答 ※理由の記述がない。または一つしか記述していない。

【理由に説得力をもたせて記述する力】

理由の一つ以上に、自分自身の体験や予想などを加えてくわしく説明している。

⑧

正答 ※記述した理由の一つ以上に、それに整合した自分の体験や予想等を加えて説明している。

誤答 ※自分の体験や予想を加えて説明しているが、理由と整合していない。

無答 ※理由に、自分の体験や予想などを加えて説明していない。

【とらえた問題点について、自分の考えを記述する力】

賛成した案の問題点をとらえ、それについて自分の考え(解決方法も含む)を書き加えている。

⑨

正答 ※賛成した案の問題点をとらえて、それについて自分の考え(解決方法も含む)を書き加えている。問題点に対する自分の考え(解決方法も含む)が、ほぼ整合した内容であれば可。

誤答 ※問題点をとらえているが、それに対する自分の考えと整合していない。または、問題点をとらえているが、それに対する自分の考えが書かれていない。

無答 ※問題点やそれに対する自分の考えの記述がない。

【解答例】

【A案に賛成する  
意見文の解答例】

終わり	中	始め
立場の表明の 繰り返し	理由① 自分の体験 問題点 意見（解決策） 理由②	立場の表明

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
<p>① ぼくは、A案にさん成します。理由は二つあります。</p> <p>② 一つ目の理由は、資料3を見ると、あいさつが上手な人に賞じょうをあげるとよいという意見があるからです。ぼくも以前、歯みがき週間で毎日しつかり取り組んで、賞じょうをもらったことがあります。賞じょうをもらうとまたやる気が出ると思います。</p> <p>③ たしかに、A案には、カードをわたすことに気を取られているとあいさつをしている人を見のがしてしまうという心配があります。</p> <p>④ しかし、あいさつをする人、カードをわたす人を分ければ大じょうぶだと思います。</p> <p>⑤ 二つ目の理由は、カードをわたすことで仲良くなることができると思うからです。そうすれば、あいさつ当番でない日でも元気なあいさつができるようになると思います。</p> <p>⑥ このような理由から、青空小学校のあいさつをよくするための取り組みとして、A案にさん成します。(三八七字)</p>																			

【B案に賛成する  
意見文の解答例】

終わり	中	始め
立場の表明の 繰り返し	理由① 理由② 予想 問題点 意見	立場の表明

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
<p>① わたしは、B案にさん成します。理由は二つあります。</p> <p>② 一つ目の理由は、生活委員だけでなく、全員があいさつをすることで、自分からする習慣が身に付くと思うからです。</p> <p>③ 二つ目の理由は、いろいろな学年の子とあいさつができるからです。わたしは、今、自分と同じ学年の友達としかあいさつをしていません。でも、他の学年の子ともあいさつできるようになれば、もっと学校生活が楽しくなるだろうと思います。</p> <p>④ たしかに、当番の人数が多いとこんざつして、さわがしくなり、よいあいさつができないと考える人もいるでしょう。しかし、一週間ごとにあいさつ当番をする学年を交代していけば、こんざつすることもなく、よいあいさつができると思います。</p> <p>⑤ このような理由から、B案は「はっきりした声であいさつする」人を増やすために、よい取り組みだと思えます。(三九二字)</p>																			